



Makabeishikai
Junkangogakuin

MJ かけはし

永年の歴史を紡ぐ、伝統ある学院
男女共学、主婦、社会人歓迎の開かれた学院

— 幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍 —



令和4年度志願者概況

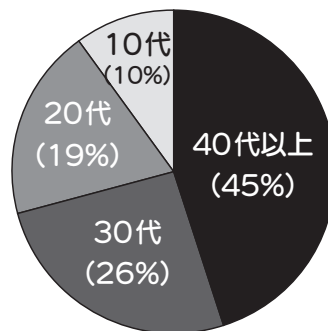
真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2,302名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する古河市・結城市・坂東市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・笠間市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

社会人経験者のキャリア

- ・医療関係施設でヘルパーとして従事していた人
 - ・介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
 - ・調理師・美容関係等の異業種から資格取得を目指す人
- 新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

令和4年度 志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、社会の構造的要因も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は90%と高くなっています。

医療機関、介護・福祉施設 に所属して学ぶ

入学者の多くは、医療機関や介護・福祉系の施設を始めとして、通学可能な範囲の施設などに所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関や施設等で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

各種給付金等を活用して 経済的負担を軽減

県・市町村・公共職業安定所（ハローワーク）等の定める各種修学資金、支援金等があり、条件が合えば在学時の経済的負担の軽減策の一つとして、これらの制度を活用することも可能です。

卒業後の進路（65回生）

卒業後の進路は、所属する病院・医院等へ就職する生徒が82%、正看等の看護学校への進学者が18%となっており、自分自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

エッセンシャルワーカーとして看護の道を選ぶこと

「エッセンシャルワーカー」とは、私たちが生活を営む上で欠かせない仕事に従事している人々のことを指し、医療・看護・福祉分野の従事者が含まれます。

コロナ危機による経済収縮により、一般企業の求人にも大きな影響をもたらす可能性があるコロナショック。世の中の仕事の需給状況や、仕事を取り巻く環境は大きく変わってきています。この状況下、需要が高まっている職種がエッセンシャルワーカーと呼ばれる職種で働く方々です。今後、人々の活動が制限されたニューノーマルといわれる新生活様式が日常化する中、ライフライン維持のために働く看護職者へのニーズはさらに高まり、活躍のフィールドがますます広がります。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。

准看護師検定試験13年連続

100%合格



准看護師検定試験（保健師助産師看護法に基づいて行われる知事試験）は、例年2月に実施されるのが通例です。当学院では、茨城県その他、試験日が異なる他県（昨年は山形県）での受験ができるよう例年スケジュール調整をして、感染症流行期の万一の場合にも備えて、2回の受験機会を確保して検定試験に臨んでいます。

准看護師検定試験の合格率は全国的にも非常に高く、昨年度の茨城県では96.4%となっており、2年間不断の努力を継続すれば自ずと結果はついてきます。

当学院では、一人ひとりの個性に合わせたきめ細やかな指導体制の下、最後の最後まで粘って粘ってあきらめずにやり抜くとともに、あたり前のことをあたり前にやる「凡事徹底」を指導方針として、教員が生徒と向き合い結果に拘る指導をしています。

本年度においても、64回生から65回生へ、当学院の伝統の全員合格のバトンが繋がれました。受験生の皆さんへむけた65回生のメッセージを参考に、自分自身の将来像を描いてみてください。

65回生 Message

入学した時、私は2歳の子供を1人で育てていました。

仕事はしていなかったので、学校のない時間や子供が寝た後の夜の時間を活用し、授業の復習や、テスト勉強、課題レポートなどを行っていましたが、子供の体調不良など、思ったように時間が取れない事もありました。

そんな中で、私が何より一番大切にしていたのは、授業中の過ごし方です。

家での勉強が思ったようにできない分、授業をきちんと聞き、覚える。そして家では覚えたことを復習する、というように勉強していました。

資格試験の勉強では、とにかく問題を解いて、分からない事や苦手な部分の問題に集中的に取り組みました。

「何としてでも合格して卒業する」という気持ちで毎日を過ごしていけば、きっと合格できると思います！

E・H

入学した頃はテスト勉強を夜にやっていたのですが、中々頭に入らなくて覚えられない事に気がつき、朝早く起きてやる事にしました。

私の場合は朝勉強する事で、頭の中にスーッと入ってきて覚えられるようになりました。クラスの仲間とテスト前の5分間で問題を出し合ったりしながら、テストもクリアしてきました。クラスの仲間と同じ目標を持ち、全員で協力しながらあっという間の2年間でしたが凄く充実していました。

現在、コロナ禍で医療の現場が逼迫している状態です。育児をしながら資格を取った人達もたくさんいます。是非、資格を取得して一緒に働きましょう！

Y・J

勉強に関しては、空き時間での勉強がおすすです。

家庭があると、自宅でのまとまった勉強時間の確保は難しく、テスト勉強や課題の提出に慌てる事が多くなってしまう。

少しでも余裕を持って進めて行く為に、夕飯からお風呂に入るまでの20分間で教科書やプリントを復習したり、朝の10分間でも課題を進めるなど、少しの時間を活用していました。

入学して新しい友人もでき、視野が広がりました。

S・S

准看護師になろうと思ったのは、なぜかが重要だと思います。なろうと思ったきっかけを忘れないでいることが、最後まで諦めずに頑張れるモチベーションになります。挫折しそうになった時は、自分だけが辛いとは限らないので、周りの人はどうしているのかを聞くなどして前に進む方法がないのか考えてみて下さい。

学業と家庭の両立は、年間予定表やカレンダーなどに自分と家族の予定を書き込み、家族と共有し、理解や協力を求めると思います。余裕が持てるよう、優先順位を決めて行動し、好きな音楽などを聞きながら気分転換をしていました。

N・K

2年間で資格を取るための勉強をするので、授業のスピードについていくことが大切です。

そこで学習を習慣化する為に私は、1年生の頃から1日30分でもいいから家で勉強するというルールを作り勉強していました。高すぎる目標はモチベーションが保てないため、自分の生活リズムや継続できるかどうかを考え自分なりのルールで学習しました。

H・U

現在コロナウイルスが蔓延している中で、とても医療現場では人手不足になっています。看護学校に入学するには家庭や仕事との両立、経済的問題など不安なことが沢山あるかと思いますが、学院の先生方が必ず相談に乗って適切なアドバイスをいただけます。

また課題や実習は一人ではなく、同期の仲間達と一緒に乗り越えることができます。自宅に帰ってからは家事や育児に追われてしまう為、学院での隙間時間や家事がひと段落してから数時間、30分でも机に向かう時間を作ることが大切です。私達も最初は不安でしかなかったですが、2年間経てみるとあっという間で仲間と過ごした日々がとても充実していたことを思い返すことができます。これから医療を支えていく為にも頑張りたいです。

M・H

勉強は毎日2時間はやろう(30分やって、5分休憩)と時間決めて、2年生の夏休みまでに人体の仕組みをある程度理解出来るように、教科書やワークブックを使って勉強しました。そうする事で2年生の夏休み以降の学習や実習がスムーズに行きました。どうしてもやる気が無かったり、体調がよくない時には、2時間は勉強できなくても30分でも合格ガイドブックに目を通したり、学校から配付されたプリントに目を通して覚えしました。学校から配付されたプリントはわかりやすいので、資格試験対策に重宝しました。

勉強はやった分だけ必ず結果がついてくるので、資格試験に合格して看護師として働いている姿をイメージしながら勉強を頑張ってください。

U・T

クラブ・フォー・ケアラーズ



医療現場で未知のウイルスに立ち向かい奮闘している当学院の卒業生は、私たちの誇りです。



ポストコロナ時代に向かって

看護職者はこれからの時代に求められるエッセンシャルワーカー



看護の道を目指す方々で、准看護師か、正看護師かで迷う方々は少なくありません。

今年度4月に入学した当学院の67回生31名に、准看護師と看護師のどちらの資格を取るかで迷ったか、アンケート調査をしたところ、迷わなかった58.1%、迷った41.9%となりました。約4割の人は看護職者となるにあたって迷ったと回答しましたが、その理由においては、迷わなかったと回答した人と同様に、この道に進む選択のポイントとして年齢、家庭環境、経済面が色濃く影響していることが伺える結果となりました。

67回生の年齢構成が20代以上の占有率は約90%と例年に比しても、社会人経験者の占有率が高く、この世代の方々の多くは、働きながら、子育てをしながら、家庭と学業の両立をしながら学んでいます。

第二の人生の働き方のひとつとして、資格を取りたいと考え、資格取得までの期間、経済的負担など考慮して、比較的短期間で医療に関する知識や技術が身につく、現場に出られる准看護師ならではのメリットを優先した選択をしている傾向もみられました。

日本は超高齢社会に突入しており、看護職者の需要が着実に高まっており、医療分野はもちろんのこと介護分野においても、医療知識のある准看護師は必要とされる重要な存在になります。ミドル世代で資格を取得した場合、准看護師としての経験は浅くとも、介護の現場で、介護を受ける側としては、年齢が近い方が「頼れる」「安心できる」存在として好まれるケースもあります。

今年入学した67回生は、10代から50代まで、さまざまなライフステージに立つ方々が准看護師資格取得を目指して入学してきました。当学院卒業後、看護師資格取得を目指し、進学する生徒もいます。受験生の皆さんの自分自身の状況や働き方の希望に合わせて方向性を見いだす道標となれば幸いです。

essential work ∞ essential work ∞ essential work ∞ essential work ∞ essential work ∞ essential work

★看護師と准看護師のどちらの資格をとるか迷いましたか。

項目	回答数	10代	20代	30代	40代	50代
☐ 迷わなかった	18 (58.1%)	1 (男1)	1 (女1)	5 (男1女4)	10 (男4女6)	1 (女1)
☐ 迷った	13 (41.9%)	2 (女2)	5 (女5)	3 (男1女2)	3 (男1女2)	0

「迷わなかった」理由

○准看護師の資格を取って、専門職の知識を身につけてから正看護師の資格を取得したいと思ったから。(40代女性)
○准看護師の資格を取得後、考えればいいと思ったから。(40代男性)

○まずは准看護師。准看護師を持っていればDSの人員規定は満たされるので。日常生活において、万が一の時(災害や被災地・事故などに遭遇)、救急車を待つまでの判断や行動が出来るようになると思ったから。(40代男性)
○自分には時間的、経済的な余裕があまりないため、まずは准看護師の資格を取り、正看護師には、准看護師として働いて経験を積みながら、もし勉強できそうなタイミングがみつかったのなら、その時にチャレンジしようと思った。(40代男性)

て経験を積みながら、もし勉強できそうなタイミングがみつかったのなら、その時にチャレンジしようと思った。(40代男性)

○子どもの年齢と金銭面、自分の年齢を考え、3年間学校に通うことはできないと判断したから。(30代女性)
○一年でも早く、看護師として臨床経験を積みたかったため。(50代女性)
○経済的な面から働きながら資格を取りたかったため。(40代女性)
○働きながら通える学校に行きたかったし、今から3年間はきついと思った。(40代女性)

○具体的に看護の道へ進む事ができたのは、40代になってからであったため、

看護の道



現実的に3年間という時間を取ることが難しく、また、2年分の預貯金はなくなりましたが、さらに金銭的な負担は出来なかった。(40代男性)

○正看護学校を2年の夏に中途退学したので、3年の正看護学校を再び受験する気持ちになれなかった。また、2年であれば様々な制度を利用し、金銭的・肉体的・精神的に安定した環境を整えられると考えたから。(30代男性)

「迷った」理由

○医療・介護等の経験がないため、正看護学校に行くのには不安があった。日々、医療現場で働きながら学べる准看護学院のほうが良いと考えたから。(20代女性)
○いずれは看護師を目指しているが、経済的な面を考慮して働きながら通える准看護学院を選びました。(40代男性)

○就業年限が2年間で、授業は半日なので、家庭との両立がしやすいと思い、准看護師の資格をまず取ろうと思いました。(30代女性)

○将来的に正看護師の資格を取るつもりだから。(20代女性)

○准看護師より正看護師の資格を取ったほうがいいと思ったが、准看護師を取ってからでも遅くないと思い、准看護師の資格を取ろうと思った。(20代女性)
○働きながら資格取得を目指すか、今の仕事を休職して全日制に通うか迷った。(30代男性)
○正看護師になりたいけど、3年後半。子どももいて、3年以上学業に専念する勇氣はなかった。でも、小さいころからの夢を叶えたいのと、自分のために准看護師資格を取ろうと思った。(30代女性)

○学費が違うし、通学年数が違うので、早くスキルを持つなら准看護師と思いました。(20代女性)



奨学金・給付金を活用して資格取得へ

当学院の生徒の中でも、経済的な不安を抱える人は少なくありません。当学院ではその不安を解消し、経済的負担を軽減する為の奨学金・給付金制度を紹介しています。実際の各種奨学金・給付金の活用例を参考にしてください。

○ 異業種から看護職への転職を目指している A さん (40 代)

半年前に長年勤務した職場を退職。ハローワークで当学院が専門実践教育訓練給付金の対象校であることを知り、受験を決意。また入学時 45 歳未満のため、専門実践教育訓練支援金も受給。入学後は学業に専念し、地元医療機関への就職を目指している。返還免除制度がある行政からの修学資金と、ハローワークからの給付金を得ながら通学。



① 茨城県看護師等修学資金	252,000 円
③-1 専門実践教育訓練給付金	195,295 円 (1 年次) 150,000 円 (2 年次)
③-2 専門実践教育訓練支援給付金	雇用保険の基本 手当日額の 80% × 受講日数

○ 地元病院で看護助手として勤務している B さん (10 代)

勤務先医療機関からの奨学金と給与収入、また返還免除制度がある行政からの修学資金を得ながら通学。



* 勤務先病院からの奨学金 (病院ごとに金額は異なる)	
入学時諸経費 (女性) 177,000 円の内、一部 135,000 円と授業料等 400,000 円/年を奨学金として受給	
* 給与収入	月額 50,000 円 ~ 80,000 円程度 (病院ごとに金額は異なる)
① 茨城県看護師等修学資金	252,000 円

○ 高等学校中退で介護職から看護職へのキャリアチェンジを目指す C さん (20 代)

職場を退職、新しい職場で夫の扶養の範囲内で働き、ハローワークからの給付金と返還免除制度がある行政からの修学資金で学費等を確保し通学。

① 茨城県看護師等修学資金	252,000 円
③-1 専門実践教育訓練給付金	195,295 円 (1 年次) 150,000 円 (2 年次)
③-2 専門実践教育訓練支援給付金	雇用保険の基本 手当日額の 80% × 受講日数
④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金	118,800 円 ~ 276,000 円 (前年度所得によって異なる)
* 給与収入	月額 50,000 円 ~ 80,000 円程度 (病院ごとに金額は異なる)

○ 高等学校中退で異業種から看護職を目指すシングルマザー D さん (30 代)

資格取得し安定した生活基盤を築くために、一般企業からの転職を目指し、自治体およびハローワークに相談。行政からの資格取得を目指すシングルマザーの生活費支援とハローワークからの給付金、また返還免除制度がある行政からの修学資金を受給。経済的不安が解消されたので資格取得を決意した。

① 茨城県看護師等修学資金	252,000 円
② 高等職業訓練促進給付金	(住民税非課税世帯) 1,200,000 円 (1 年次) 1,680,000 円 (2 年次) (住民税課税世帯) 846,000 円 (1 年次) 1,326,000 円 (2 年次)
③-1 専門実践教育訓練給付金	195,295 円 (1 年次) 150,000 円 (2 年次)
③-2 専門実践教育訓練支援給付金	雇用保険の基本 手当日額の 80% × 受講日数
④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金	118,800 円 ~ 276,000 円 (前年度所得によって異なる)
④-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金	134,600 円 (住民税非課税世帯のみ給付)

各奨学金・給付金の詳細はこちら

①	茨城県看護師等修学資金	年 4 回支給 月額 21,000 円
卒業後、准看護師免許を取得し、茨城県内の看護職員不足地域にある医療機関などに、看護職員としての業務に従事しようとする方。(看護職員不足地域に 5 年間継続して看護職員の業務に従事した場合、返還債務免除)		

③-1	専門実践教育訓練給付	教育訓練経費の 50% (上限: 年間 40 万円) 年 2 回給付 ※教育訓練経費 (入学金・授業料など) 1 年次 年額 195,295 円 2 年次 年額 150,000 円 ※所属施設での負担の場合は申請不可
●2 年以上雇用保険の被保険者および離職者 ●退職日より 1 年以内である ●前回給付を受けている人は 3 年以上空ける必要がある		

上記条件を満たし、なおかつ専門実践教育訓練を修了見込がある、45 歳未満の失業状態にある方	+	③-2 教育訓練支援給付金 80% 支給	雇用保険の基本手当日額の
※令和 7 年 3 月 31 日までの暫定措置			

* 医療機関・介護施設で働きながら学ぶ場合 (勤務先ごとに金額は異なる)

奨学金…例)	入学時諸経費 (女性) 177,000 円の内、135,000 円と授業料等 400,000 円 / 年を受給
給与収入…例)	50,000 円 ~ 80,000 円 / 月 程度

②	高等職業訓練促進給付金	毎月支給 市町村民税 非課税世帯 市町村民税 課税世帯 1 年次月額 100,000 円 1 年次月額 70,500 円 2 年次月額 140,000 円 2 年次月額 110,500 円
●母子家庭・父子家庭の方 ●児童扶養手当の支給を受けているか同等の水準にある方		

④-1	茨城県私立高等学校等就学支援金	年 4 回支給 月額 9,900 円 ~ 23,000 円
●高等学校等を卒業していない方 ●上限 36 ヶ月 (高等学校などに在籍していた期間を除く) ●返還は不要 ※支援金額は所得に応じ決定。毎年 7 月頃に所得情報更新の為改めて受給資格の確認あり		

上記条件を満たし、なおかつ非課税世帯の方	+	④-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金 134,600 円	年 1 回支給
----------------------	---	-------------------------------	---------

真壁医師会准看護学院 学費について

●授業料	年額 276,000 円	●教材費	年額 12,000 円
●実習費	年額 24,000 円	●PTA 会費	年額 48,000 円
●クラス費・駐車場代	年額 40,000 円	計 400,000 円	※前年度参考